

## 目次

○学芸会に向けて	1
○学芸会の見どころ	2
○6年生のページ	3
○11月の行事予定・生活目標	4

平成30年10月25日 No.517  
西東京市立谷戸小学校 校長 野崎信行

## 学芸会の秋

文化的行事委員長 黒田 明子

校庭の木々が色づきはじめ、秋の深まりを感じる頃となりました。秋と言えば、「スポーツの秋」「読書の秋」「食欲の秋」・・・といろいろありますが、谷戸小学校では、「芸術の秋」まっただ中です。

今年は学芸会の年。どの学年も本番に向けて、演技や歌の練習に力が入っています。日常とは違う物語の世界へ入り込み、自分とは違う役になりきって行動することは、とても楽しいことです。とはいえ、大勢の人の前で話すことが苦手であったり、役になりきるのが恥ずかしいと感じてしまったりする子も少なからずいることと思います。また、自分が演技たいと思っていた役とは異なる役に決まった子もいるでしょう。しかし、どの役も、どの台詞も、どの動きも、劇の中では重要であり、欠かすことができません。一人一人が大切な役割を担っており、その役割を果たすことで子供たちは成長し、自信を付けていくことができるのだと思います。さらに、学年の発達段階に応じて、演目の内容も違い、台詞の長さも異なります。子供たちにとっては、他学年の演技を鑑賞することで、自分たちの成長を感じたり、高学年への憧れをもったりすることができます。

子供たちは、練習を重ねるにつれて、表情や動きなど細かなところまで、気を付けることができるようになってきました。どの学年も体育館で練習できる時間は本当にわずかです。初めのうちは余裕のあった子供たちも、練習が進むにつれて、緊張感を高めてきています。当日、おうちの方が目にしたり、耳で聞いたりするお子さんの出番はそれほど多くないかもしれませんが、当日に至るまでの取り組みこそが学校で大切にしていることです。学校では、劇の練習や準備で得た「協力することの大切さ」や「みんなの力でやり遂げる達成感」「自分も役に立つんだという自己肯定感」を育むことを大切に指導しています。学芸会本番では、当日の子供たちの出

来だけでなく、練習過程での成長も、ぜひ感じ取っていただけたらと思います。また、学芸会が終わった後の子供たちの創造力や表現力、さらには協力、責任感などの社会的態度がどのくらい変容したかもご注目ください。

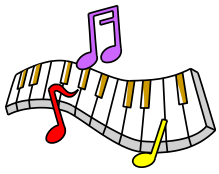
最後になりましたが、ご家庭では衣装や小道具等で多くのご協力をいただき、心より感謝申し上げます。いよいよ明日は学芸会。一人ひとりが自分の役割を精一杯演じ、輝いている姿をぜひ、ご覧ください。一生懸命に頑張ってきた子供たちに、温かいご声援と大きな拍手をお願いいたします。

○保護者鑑賞日 10月27日(土)の開場は8時20分です。体育館入口で、来校票を箱に入れてからお入りください。来校票はグループ毎に1枚必要になります。来校票が足りない場合は担任までお知らせください。来校票がない場合にはその場で書いていただきますので、入場に時間がかかります。皆様がスムーズに出入りができますようご協力ください。

○体育館の靴箱は使用できませんので外靴を入れる袋をご持参ください。またスリッパの貸し出しはございません。

○演技中の出入りはご遠慮ください。

○一番前のマット席は出演している学年の保護者の方、優先です。入れ替え制になっていますので、お子様の出演が終わりましたら、マット席を次学年の保護者の方にお譲りください。



# 学芸会の見どころ



<p><b>(1年)</b> <b>「アイウエオリババ」</b></p> <p>五つ子のアイウエオリババは、偶然どろぼうたちの秘密の岩穴を見つけます。「開け、ゴマ！」で開く岩穴には、金貨や銀貨、宝石がたくさん。それを知ったよくばりカシムと奥さん、こっそり岩穴へでかけますが、どろぼうたちに見つかってしまい、さあ大変！アイウエオリババはどうするのでしょうか。</p> <p>初めての学芸会、55人力を合わせて演じます。また、一人一人が大きな声で、気持ちを込めて台詞や劇中歌を練習しています。気持ちの合った演技や歌をお楽しみください。</p>	<p><b>(2年)</b> <b>「どろぼう学校」</b></p> <p>東京の西のはずれの山の中のもっと山の中にある「どろぼう学校」では、一流の泥棒になるために、毎日授業をしています。</p> <p>そんなある日、どろぼう学校の生徒たちは東京で一番金持ちが住む、西東京村に遠足で行くことになりました。どろぼう学校の生徒たちは無事に帰ってくるのできるのでしょうか。</p> <p>2年生は初めての学芸会です。セリフを言うだけでなく、強弱や動作をつけて役になりきって劇をします。個性豊かな2年生の劇をお楽しみください。</p>
<p><b>(3年)</b> <b>「少年少女冒険隊」</b></p> <p>「さあ出発しよう！」</p> <p>ある日、子供たちが宝の地図を手に入れました。大人たちには秘密にして、子供たちだけで宝物を探しに行きます。</p> <p>冒険の途中で幾度も困難にぶつかります。果たして乗り越えられるのでしょうか？宝物は手に入るのでしょうか？宝物とは一体何なのでしょうか？</p> <p>せりふや歌の声の大きさに加え、登場人物の気持ちを自分たちで考えて練習しました。子供たちが作り上げた劇をお楽しみに！</p>	<p><b>(4年)</b> <b>「オズのまほうつかい」</b></p> <p>毎日の生活に何か物足りない主人公、ドロシー。ある日、竜巻に飛ばされてしまい、気が付くとそこは「オズの国」。家に帰るために、出会ったかかしやブリキ、ライオンとともにオズのまほうつかいに会いに行きます。それぞれの願いをかなえてもらうことはできるのか？まほうつかいの正体とは？本当の幸せとは何か？</p> <p>2年生の時よりもかっこいい姿を見せようと、自分たちで動きを考えながら練習しました。成長した姿を見てください！</p>
<p><b>(5年)</b> <b>「人間になりたがった猫」</b></p> <p>ダンスタンの森に住む猫、ライオネルは、神様に頼んで人間の姿に変えてもらいました。人間になっている期限は2日。ブライトフォードの街に向かったライオネルは、そこで人間の素晴らしさ、醜さを知ります。人との触れ合いを通し、人間の姿のままにいたいと願うようになるライオネル。彼の願いはかなうのでしょうか。</p> <p>5年生は、小学校生活最後の学芸会です。それぞれが役の意味を考え、見ている人に伝わるように演じます。全4幕の構成で、歌や踊り、パフォーマンスを披露します。まさに一大エンターテインメント大作です。躍動感あふれる5年生の演技に、拍手をお願いします。</p>	<p><b>(6年)</b> <b>「ユタと不思議な仲間たち」</b></p> <p>両親を亡くし、祖父母のいる田舎町へ引っ越したユタ。新しい環境になじめず寂しい日々を送っていました。そんなユタの前に現れた不思議な仲間たち。仲間たちの叱咤激励に、少しずつ心を開いていくことができ、本当の友達とは何かに気付きます。</p> <p>今年の学芸会は例年に比べて1か月早く、移動教室が終わってすぐの学芸会練習となりました。忙しい自分たちを言い訳にしないとそれぞれが決め、練習に臨みました。いいものを作り上げたいという子供たちの思いが時にぶつかり、練習最終日まで色々なことがありましたが、本番は学年の心が一つになると信じています。子供たちの底力を期待してください。</p>

# 赤城移動教室

6年生は、9月19日から2泊3日で、群馬県の赤城へ移動教室に行ってきました。

集合時間に間に合わない班。班別行動でも男子だけ女子だけ固まって歩いてきた長七郎山登山。自分の役割が終わったら遊んでいる人もいた野外炊事。初日の班長会では困ったことばかりが話題にあがり、自分たちの課題が浮き彫りになりました。2日目は昨日の反省を生かし、班長を中心に声を掛け合ったり、助け合ったりする姿が多くなり、子供たちの動きが変わってきました。子供たち一人一人が仲間を思いやり、支え合い、一緒に目標を達成する喜びを感じられるようになったからだと思います。大自然の中での共同生活を通して、絆を深めるとともに、協力することの本当の意味を理解するよい時間になりました。

この移動教室の学びを、これからの生活の中で生かし、さらなる進化をしていく6年生にご期待ください。

## 野外炊事・長七郎山登山(1日目)



薪を組んで火をおこすところから始めます。カレーのこびりついたなべまで、協力してピカピカに磨きました。



大自然を感じながら、どんどん登っていきます。頂上へ着くころには、みんな汗だくでした。

## あかぎアドベンチャープログラム・キャンプファイヤー(2日目)



あかぎアドベンチャープログラムという活動では、課題達成のための方法を考え、仲間と協力して様々な課題に取り組んでいきました。



男女関係なく、手を取り合い、笑い合いながら、ろうそくを囲みました。火の神の出現になぜか大爆笑！

## 退所点検・古墳見学・勾玉作り(3日目)



自分たちで使った場所は自分たちで掃除をします。部屋の掃除だけでなく、トイレや洗面所の排水口まで、自分から気付いて進んで掃除をしました。



かみつけの里では、勾玉作りに挑戦しました。集中して削り、丁寧にやすりで磨き上げ、世界で一つの勾玉が完成しました。

# 11月の行事予定

日	曜	行事等
1	木	クラブ
2	金	希望個人面談②
3	土	文化の日
4	日	
5	月	朝会 読書週間 安全指導 クラブ
6	火	盲導犬体験4年(3・4校時)
7	水	4時間授業 研究授業(2年2組は5時間)
8	木	避難訓練 委員会
9	金	集会(代表) アウトリーチコンサート(6年)
10	土	市民まつり(34年参加)
11	日	市民まつり
12	月	朝会
13	火	就学時健康診断 13:30 4時間授業
14	水	4時間授業
15	木	歯みがき指導(3年)たてわり集会 456年6時間授業
16	金	社会科見学(3年)歯みがき指導(5年)
17	土	土曜公開(3・4校時) 町たんけん2年(3・4校時)
18	日	
19	月	朝会 短なわジャンプアップ(~11/30) 歯みがき指導(6年)
20	火	
21	水	社会科見学(4年)歯みがき指導(1年)
22	木	音楽集会 歯みがき指導(4年)クラブ
23	金	勤労感謝の日
24	土	
25	日	
26	月	朝会 歯みがき指導(2年)
27	火	脊柱検査(5年)13:30
28	水	
29	木	委員会
30	金	保護者会(34年)15:00~ 4年保護者学年活動

# 今日の目標

<b>生活</b>	進んで仕事をしよう
<b>保健</b>	じょうぶなからだをつくろう
<b>給食</b>	感謝の気持ちをもって食べよう
<b>清掃</b>	ごみの分別に気を付けよう

## 11月の生活目標について

生活指導部：

### 「進んで仕事をしよう」

家庭でのお手伝いや係・委員会の仕事、任された仕事を責任をもって全うすることは子供たちにとって簡単なことではありません。それでも掃除の時間や給食の時間など、学校生活の中で子供たちに目を向けると自らの仕事に真摯に向き合い、取り組む様子が確認できます。

そのような子供たちには次の段階として、「進んで仕事をしよう」にチャレンジしてほしいです。進んで仕事をするためには、言われた仕事をこなすだけではなく、自分からやることを見つけて行動する力が必要です。教室が汚れていると気付いたときに係でなくても掃除するなど、他の誰かではなく自分がやるという気持ちをもってほしいと思います。仕事をやり遂げたときにそれを認める言葉を掛けることで「進んで仕事をしよう」という気持ちは自然に育まれます。子供たちの取り組みには普段以上に褒める言葉を掛けていきましょう。

いよいよ10月26日、27日は学芸会本番です。子供たちがより良いものを作り上げようと進んで取り組んだ成果をぜひご覧ください。

## 今日の土曜公開のご案内

**11月17日(土) 3・4校時**

スクールカウンセラー長谷川先生の11月の相談日は、6日(火)、13日(火)、20日(火)、27日(火)です。